

花矢図書館だより 7 2023



おすすめ 新着図書

一般書

- ミッキーマウス毎日がときめく100の言葉
- るるぶ 東北/青森/秋田/山形/岩手/宮城/福島
- おそろおそろ育休 (西 靖)
- 老いも孤独もなんのその「ひとり老後」の知恵袋 (保坂 隆)
- 眠れなくなる怪談沼 実話四谷怪談 (川奈まり子)
- 肝臓にホントにいいこと帳
- 野菜の病気と害虫対策BOOK
- いのちの食べ方 (Eve)
- 27000冊ガーデン (大崎 梢)
- やさしさを忘れぬうちに (川口 俊和)
- ヨモツイクサ (知念 実希人)
- くもをさがす (西 加奈子) 他

児童書

- 昆虫 (学研の図鑑 Live)
- これまでヒミツにされてきた誰でもトップ層に入れる中学生の勉強法 (石田 勝紀)
- 潜入!世界のフィールドワーク 岩石・鉱物 (スティーブ・トムズ)
- ヨゾラ物語ファイル (藤 真知子)
- 青春サプリ [9・10]
- かぜがつよいひ (絵本)
- 給食室のいちにち (絵本)
- ゆびさんぽ (絵本) 他

今月のスタッフいちおし!

一般 『ズボラ母さんのゆる貯め節約術』 マルサイ

「浪費はしないけど、数字が苦手で、家計はなんとなくのどんぶり勘定」だというマルサイさん。そんな彼女が食費やレジャー費、光熱費など、さまざまな節約に挑戦した様子を描いたコミックエッセイ。サボりたい日はどうするかや、作った節約レシピも掲載。いろんなものの値段が上がっている今、節約のお供にこの本はいかがでしょうか。

児童 『まよなかのゆうえんち』 ギデオン・ステラー

いつもはひっそりとした森に、移動式の遊園地がやってきた。きらびやかな光と、たくさんの人間たちでにぎわう遊園地。そして、守衛さんもいなくなって静まり返った真夜中の遊園地に、遠くから様子をうかがっていた動物たちがやってきた。金網を破り器用にスイッチを入れたら、「まよなかのゆうえんち」のはじまりはじまり。絵だけで語られる物語。

「真夏の怪談会」のご案内

怖い話を聞きたい人も話したい人も好きならさあよっといで。いっしょに楽しんでくれる人を待っているよ。

日時：8月6日(日)

午後5時15分～(30分程度)

申込み：7月1日から

聞き手：小学生 (定員15人)

話し手：小～中学生 (定員5組)

(花矢図書館カウンターならびに電話で受付します。)

定員になり次第終了となります)

*話し手の希望者は、怪談を1つ用意してください。図書館の本、自分の体験談、自作の怪談など題材は自由です。ペアでも参加できます。一緒にみんなを怖がらせましょう。

申込み・問合せ：花矢図書館 (46-1557)

「怖い話を聞いて話して一緒に楽しもう」

お知らせコーナー

今月のテーマ展示は

大人向け 『涼しい色の本あつめました』

子ども向け 『海のおはなし』

「真夏の怪談会」にあわせて、
こわい話をあつめた特設コーナーが登場します。
展示期間：7/1(土)～8/6(日) ぜひご利用ください。

花矢図書館定例

『おはなし会』

7月12日(水) 10:30～

場所 / 花矢図書館

※延期や中止になる場合がございますので、予めご了承ください。